

本年 11 月から翌年 3 月にかけて、概ね隔月の頻度で個別分野毎に「住宅宅地分科会勉強会」を開催。勉強会では、各委員等から、より掘り下げた論点の提示をいただきつつ、住宅宅地分科会では、勉強会での議論を踏まえた論点整理や今後の方向性について議論。

住宅宅地分科会勉強会（本年 11 月、翌年 1 月、3 月）

- 個別分野毎に開催し、関心のある委員等が出席（公開）
- 冒頭、特に個別分野に知見を有する委員等（各回 3～4 名程度）から当該分野の現状や注目すべき動向、議論すべき論点等についてプレゼンテーションを行い、これを踏まえて議論

住宅宅地分科会（本年 12 月、翌年 2 月、4 月）

- 住宅宅地分科会勉強会での議論を事務局が整理し、勉強会の翌月に開催する住宅宅地分科会に報告
- 住宅宅地分科会では、事務局からの報告を踏まえ、個別分野毎に更なる議論の深掘りや今後の方向性等について議論を行う（委員等によるプレゼンテーションを分科会で実施する場合もあり）

スケジュール

- 令和元年 11 月：住宅宅地分科会勉強会（第 1 回）
分野：「ストック」の視点
- 令和元年 12 月：住宅宅地分科会（第 49 回）
分野：「ストック」の視点
- 令和 2 年 1 月：住宅宅地分科会勉強会（第 2 回）
分野：「居住者」の視点
- 令和 2 年 2 月：住宅宅地分科会（第 50 回）
分野：「居住者」の視点
- 令和 2 年 3 月：住宅宅地分科会勉強会（第 3 回）（第 4 回）
分野：「産業・新技術」「まちづくり」の視点
- 令和 2 年 4 月：住宅宅地分科会（第 51 回）
分野：「産業・新技術」「まちづくり」の視点
- 令和 2 年 5 月：住宅宅地分科会（第 52 回）
中間とりまとめ（案）について